

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
演習	楠本 孝	演習	4		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>犯罪と刑罰をめぐる諸問題からゼミ生が自ら選んだテーマについて調査・研究・報告を行う。前期は、ゼミ生各自が選択したテーマについて、代表的な先行研究を教員が指定し、それを各ゼミ員がレジュメにまとめ報告する。一人2回ないし3回程度の報告をする。後期は、各ゼミ員が、自分の選択したテーマについて、自ら関連論文を選択して、その内容について報告する。一人2回ないし3回程度の報告をする。以下は、学生が、仮に、死刑、少年法、責任能力論、性犯罪、安楽死をテーマとして選んだ場合を想定した授業計画である。</p>						
到達目標	最終的には、各自ゼミ論文を作成し、論文集にまとめる。						
回	学習内容		回	学習内容			
1	研究倫理教育/ 死刑存置論の基本文献を読む		16	所一彦の死刑存置論を検討する			
2	少年法の概要に関する基本文献を読む		17	刑事処分相当性の内容を検討する			
3	責任能力に関する基本文献を読む		18	前田雅英の責任能力論を検討する			
4	性犯罪に関する基本文献を読む		19	性犯罪の保護法益について検討する			
5	安楽死に関する基本文献を読む		20	ドイツにおける自殺幇助論を検討する			
6	死刑廃止論の基本文献を読む		21	菊田幸一の死刑廃止論を検討する			
7	少年法の理念に関する基本文献を読む		22	佐伯仁志の少年法の理念論を検討する			
8	責任能力に関する基本判例を読む		23	松原芳博の責任能力論を検討する			
9	性犯罪に関する刑法改正の基本文献を読む		24	性犯罪における暴行・脅迫要件を検討する			
10	安楽死に関する基本判例を読む		25	オランダの安楽死法制を検討する			
11	死刑に関する基本判例を読む		26	死刑事件のスーパーデュープロセスについて考える			
12	非行少年の処遇に関する基本文献を読む		27	廣瀬健二の少年責任論を検討する			
13	医療観察法に関する基本文献を読む		28	裁判員制度の下での責任能力論について考える			
14	性犯罪に関する近時の判例を読む		29	性犯罪に関する新たな刑法改正論議について考える			
15	諸外国の安楽死制度に関する基本文献を読む		30	スイスにおける安楽死法制について考える			
予習内容 復習内容	先行研究を予習し、復習としてゼミ論文にまとめる。						
教科書	各ゼミ生の研究テーマに即した文献を案内する。						
成績評価	ゼミ論文の内容とゼミへの貢献度を総合的に評価する。						
実務経験							
その他 特記事項	コロナウイルス感染症の拡大が収束していれば、夏休みにゼミ合宿（施設見学）を行う予定である。						